

進化するアレルギー治療

アトピー性皮膚炎・ぜんそく講演会とQ&A

2015年11月8日(日)

12:30～16:00 (開場 12:00)

主催 認定NPO法人 日本アレルギー友の会

後援 東京都

公益社団法人 日本医師会

一般社団法人 日本アレルギー学会

公益財団法人 日本アレルギー協会

独立行政法人 環境再生保全機構

公益社団法人 日本皮膚科学会東京支部

場所:フォーラムミカサ エコ 7階

JR線神田駅 西口下車 徒歩5分

*裏面地図参照

入場無料 *要申込

第一部 講演

1 アトピー性皮膚炎をしっかりとケアしよう

東京慈恵会医科大学

皮膚科 准教授 朝比奈 昭彦 先生



2 喘息は治る？治らない？

独立行政法人 国立国際医療研究センター

呼吸器内科診療科長 杉山 温人 先生



3 患者の視点から「良くなるための治療プラスアルファ」

ぜんそく部門 療養相談員 坂本直美

アトピー部門 療養相談員 丸山恵理

◎講師紹介 Q&A司会

アトピー性皮膚炎 東京通信病院 副院長兼皮膚科部長 江藤 隆史 先生

ぜんそく ふれあい横浜ホスピタル 院長 坂本 芳雄 先生

第二部 講師を囲んでQ&A

第二部は、アトピー性皮膚炎・ぜんそくのそれぞれのグループに分かれて、講師を囲んでQ&Aを行います。ご自身の不安や悩みを直接専門医に質問する事ができる、セカンドオピニオンを受ける絶好のチャンスです。また、他の方の質問を聞くだけでも同じように悩んでいる方がいることがわかりますので多くの方のご参加、ご質問お待ちしております。

来場者の方に治療情報冊子、敏感肌用スキンケア用品のサンプルを差し上げます！

講演内容・講師略歴

－アトピー性皮膚炎－

アトピー性皮膚炎をしっかりとケアしよう

東京慈恵会医科大学 皮膚科 准教授
朝比奈 昭彦 先生

アトピー性皮膚炎の肌はドライスキンかつ敏感肌で、様々な外的刺激で湿疹が悪化しやすい。表皮のバリアが障害されると、皮膚からアレルゲンが侵入するために新たにアレルギーを獲得し、アトピー性皮膚炎の悪化だけでなく、他のアレルギー疾患の発症にもつながることが、最近の研究から分かっている。アトピー性皮膚炎を早期に適切に治療し、普段からスキンケアすることの重要性和、その方法を解説する。

- 1987年 東京大学 医学部 医学科 卒業
東京大学 医学部 皮膚科 入局 同附属病院 勤務
- 1989年 関東中央病院 皮膚科 勤務
- 1992年～ 米国 MGH-ハーバード大
- 1994年 Cutaneous Biology Research Center 留学
- 1998年 東京大学 医学部 皮膚科 講師
- 2001年 東京大学 医学部 皮膚科 助教授
- 2005年 独立行政法人 国立病院機構 相模原病院 皮膚科 医長
同臨床研究センター室長
- 2014年 東京慈恵会医科大学 皮膚科 准教授

－ぜんそく－

喘息は治る？ 治らない？

独立行政法人 国立国際医療研究センター
呼吸器内科 診療科長
杉山 温人 先生

気管支喘息の本態は慢性の気道炎症であり、このために気道の閉塞が起こり、咳や呼吸困難など様々な症状が出現します。この症状は自然に、または治療によって変化するのが特徴です。背景に気道の炎症があるので、気管支を拡げる治療だけでは一時しのぎにしかありません。大もとの炎症を治療しない限り、症状は良くなりません。その炎症を抑えるのが吸入ステロイドですが、治しきることができないのが現状です。したがって「喘息を治す」事は大変難しいのです。

- 1981年 東京大学 医学部 医学科 卒業
- 1984年 都立駒込病院 アレルギー膠原病科
- 1986年 東京大学 物理療法内科
- 1989年 米国クレイトン大学 アレルギー科
- 1992年 国立医療センター（現 国立国際医療研究センター）
呼吸器科
- 1997年 日立戸塚総合病院 内科
- 2004年 国立国際医療研究センター 呼吸器内科



講演会会場 フォーラムミカサ エコ（地図参照）
〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-18-12
内神田東誠ビル 7F 電話 03-3291-1395

<参加申込・お問合せ先>

認定NPO法人 日本アレルギー友の会
TEL 03-3634-0865
FAX 03-3634-0850
<http://www.allergy.gr.jp/>
E-mail j-allergy@nifty.com
毎週火曜日・土曜日 11:00～16:00

*11月2日から11月7日は毎日受付

この講演会の内容を会員に動画配信しています。
普通会员・Web会員のお申込は上記まで